

身近にあるものを使って、親子で遊べます

ハンカチやハンドタオルなど、身近にあるものを利用して、親子で遊べる〈おもちゃ〉を作って、親子のふれあいを

や会話を楽しみながら遊べます。いつでも、どこでも楽しめる遊びを紹介します。

●ハンカチやタオルを使って遊ぶ●

ハンカチやハンドタオルは、口を拭いたり、汗を拭いたり、とくにお出かけの時は大活躍です。このハンカチやハンドタオルを〈おもちゃ〉に変身させて遊びます。

お出かけ途中の“ぐずり”でこまったとき、何かおもちゃがないかしら？ という場面にも役立ちます。

□いないないばあ□

手の代わりに、ハンカチなどを使って「いないないばあ」をします。さえぎるものが大きいので、顔全体が隠れます。

「いないないばあ」の言葉がけがなくても、目や表情でも遊べます。間のとり方を工夫してみてください。お母さんが“いつ顔をだすかな～”の、ワクワクドキドキ感を一緒に楽しめます。

□パラシュート□

ハンカチなどの薄手の布を広げて、高いところからやさしく落とします。何度かくり返してみます。

動くものや、高いところから“ふわっ”と降りてくる物は、子どもたちの興味をそそるようです。

【応用編】

ハンカチやタオルをギュッと丸めるなどして（ゴムでとめてもよい）、人形に見立てて動かすと、“おはなし”の世界が広がります。知っている“おはなし”、子どもといっしょに作る“おはなし”も楽しめます。

●昔話にあわせて“お風呂ごっこ”●

みんなが知っている『にんじんとどぼうとだいこん』（日本の昔話）にあわせて、“お風呂ごっこ”を楽しみます。用意するのは、ハンカチやタオルなどを1枚。

お話の途中で、お風呂の場面になったら、みんなで“お風呂ごっこ”をします。

【きれい好きなだいこんが体を洗う場面】

子どもの体のいろいろな場所を、調子をつけながら“ゴシゴシ”します。

「♪ゴ〜ッシ、ゴッシ、ゴッシ〜」

【お風呂がだいっきらいなどぼうが、

タオルをもってお風呂場で遊ぶ場面】

ハンカチやタオルを広げて、投げっこして遊びます。ふわっと上に投げて、落ちてくるところを拾います。

「♪ビューン、ビュン、ビュン〜」

【お風呂の大好きなにんじんが、湯船につかっている場面】

ハンカチやタオルをたたんで、頭の上ののせます。

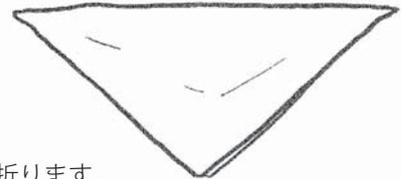
「♪ポ〜ッカ、ポッカ、ポッカ〜」

※「いち、に、い、さん、し〜……」と数えるのも、イメージしやすいです。

さわさわしたガーゼタオル、ふわとしたタオル、さらさらとしたスカーフなど、こんな肌触りは好きかな？ いろいろな素材を探してみましょう。

□うさぎ□

ハンカチを折り畳んで、指人形の“うさぎ”を作ります。



ハンカチを三角形に折ります。



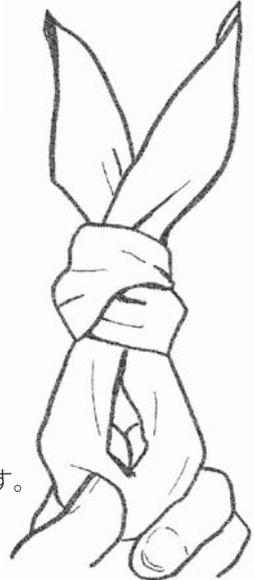
折り合わせたほうからクルクル丸めていきます。



まんなかから二つに折ります。



二本一緒に一回結びます。



折り畳んだ三角形のところに指を入れる場所が二つできます。指を曲げると耳が動きます。「うさぎさん」の完成です。

□遊び方（例）□

「うさぎ」の形をきれいに作ることも、もちろん、「ピョンピョン！」などと言葉がけをしながら、遊ぶことを大切にしてください。

動きの基本は、ゆっくりと、そしておおげさに動かすことです。いつも同じような動作をすることの方が、子どもに喜ばれるようです。子どもの“楽しい！”サインを受け取れると、親子ともうれしくなります。

□“唱歌”のようにするともっと楽しくなります□

♪こちらから うさぎさんが かけてきて
おみみを うごかすよ (ピクンピクン)
○○ちゃんいっしょに あそびましょ
ラララララララ あそびましょ

“絵描き歌”のように、言葉に抑揚をつけた“歌”です。
おはなしを作るようにいろいろな“遊びの歌”を作って遊ぶと、より楽しくなります。